Creative Enzymes®

ネイティブヒトブチリルコリンエステラーゼ

Cat. No. NATE-0093

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ブチリルコリンエステラーゼ（BChE）は、アセチルコリンエステラーゼ（AChE）と構造的に類似したセリンヒドロラーゼですが、基質特異性と阻害剤感受性が異なります。BChEは、AChEとは異なり、ブチリルコリンやベンゾイルコリンなどの大きなコリンエステルを効率的に加水分解することができます。この酵素は、4つの同等なサブユニット（各110 kDa）からなる四量体の糖タンパク質です。この酵素はCa2+およびMg2+によって活性化され、pH範□6.0-8.0で活性が一定です。ベタイン、ニコチン、リン酸エステル、カルバメートによって阻害されます。
用途	ブチリルコリンエステラーゼ (BChE) は、アセチルコリンエステラーゼ (AchE) とかなりの構造的類似性を持つセリンヒドロラーゼですが、基質および阻害剤の特異性は異なります。BChE は、脊椎動物の血清、造血細胞、肝臓、肺、心臓、および中枢神□系に存在します。
別名	ブチリルコリンエステラーゼ; BCHE; BuChE; 擬似コリンエステラーゼ; 血漿コリンエステラーゼ; EC 3.1.1.8; 9001-08-5; アシルコリンアシルヒドロラーゼ; コリンエステラーゼ; ブチリル

製品情報

種	人間
由来	ヒト血清
EC番号	EC 3.1.1.8
CAS登□番号	9001-08-5
活性	> 50 U/mg タンパク質
代謝□路	糖尿病□路、特定生物系; 疾患、特定生物系; イリノテカン□路、特定生物系; グレリンの合成、分泌、脱アシル化、特定生物系
機能	アセチルコリンエステラーゼ活性; アセチルコリンエステラーゼ活性; ベータアミロイド結合; カルボキシルエステラーゼ活性; カルボキシルエステラーゼ活性; 触媒活性; コリン結合; コリンエステラーゼ活性; コリンエステラーゼ活性; コリンエステラーゼ活性; 酵素結合; 加水分解酵素活性
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、37°Cで1分あたり1.0μmoleのブチリルコリンをコリンとブチレートに加水分解します。基質としてブチリルコリンを使用した場合の活性は、アセチルコリンを使用した場合の約2.5倍です。